

平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	第14回北陸道路舗装会議	事業経緯	継 続	実施体制	実行委員会	担当所属	技術調査室
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業			事業区分	技術開発、研究開発

1. 事業目的

本事業は、積雪寒冷地である北陸地方における舗装技術の発展と意識の高揚を図り、舗装に関する諸問題に対し、産学官が連携して技術を研鑽し、国土の安全・安心に寄与することを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：北陸道路舗装会議実行委員会

<構成10機関>

国土交通省北陸地方整備局、新潟県土木部、富山県土木部、石川県土木部、新潟市土木部、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、(一社)北陸地域づくり協会、(一財)新潟県建設技術センター、(一社)日本道路建設業協会北陸支部

3. 事業実施概要

日 時：平成30年5月31日(木)～6月1日(金)

場 所：ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市)

プログラム：

・開会式

開会挨拶：(一社)日本道路建設業協会 北陸支部長

祝辞：国土交通省北陸地方整備局長、新潟県副知事

・記念講演「メンテナンス時代の道路舗装」

講師：三浦 真紀((公社)日本道路協会 舗装委員長)

・報文発表(分科会)

4会場で、8テーマ72編の発表

・ポスターセッション

11編の発表、聴講者との討議

・パネルディスカッション

「スマートな道路建設を目指して～i-Constructionの北陸における現状と課題」

コーディネーター：高橋 修(長岡技術科学大学 教授)

・閉会式

総括報告：国土交通省北陸地方整備局 道路部長

閉会挨拶：(一社)日本道路建設業協会 理事

参加者：のべ1,017名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

昭和54年から3年に1回開催してきており、今回で14回目となる。

記念講演では「メンテナンス時代の道路舗装」と題して、舗装の長寿命化の必要性について問題提起され、報文発表では討議セッションを設け、「舗装の長寿命化」と「i-Construction」に関する舗装技術について、今日的な課題について熱心な討議がなされた。

パネルディスカッションでは、「今後の北陸の舗装に関する生産性向上の展開の意義や課題等」について討議。将来の担い手となる土木系高校生の参加もあり、ポスターセッションでも舗装技術の最新情報を提供することができ、現在並びに将来の技術者にとって大変有意義な会議となった。



記念講演



報文発表



パネルディスカッション



ポスターセッション発表